



① 国立駅周辺整備事業の全体計画

- ・国立駅周辺を歩きやすい空間とするため、道路の一方通行化を行い、歩道を拡幅します。また、国立駅周辺の交通体系を変更することで国立駅前の通過交通を低減します
- ・なお、歩道整備にはユニバーサルデザイン*を取り入れ、だれもが安全・安心に通行できるようにします。これにより、にぎわいのある広くて快適な歩行空間が整備されます

*ユニバーサルデザイン：しょうがいや年齢などにかかわらず多様な人々が利用しやすいように、生活環境などをデザインすること

・国立駅南第1自転車駐車を西側に移設し、拡充整備しました（平成29年（2017年）10月開業）

・民間活力を導入して国立駅南口複合公共施設を整備します

北口での広場空間の確保

北口駅前広場の再整備

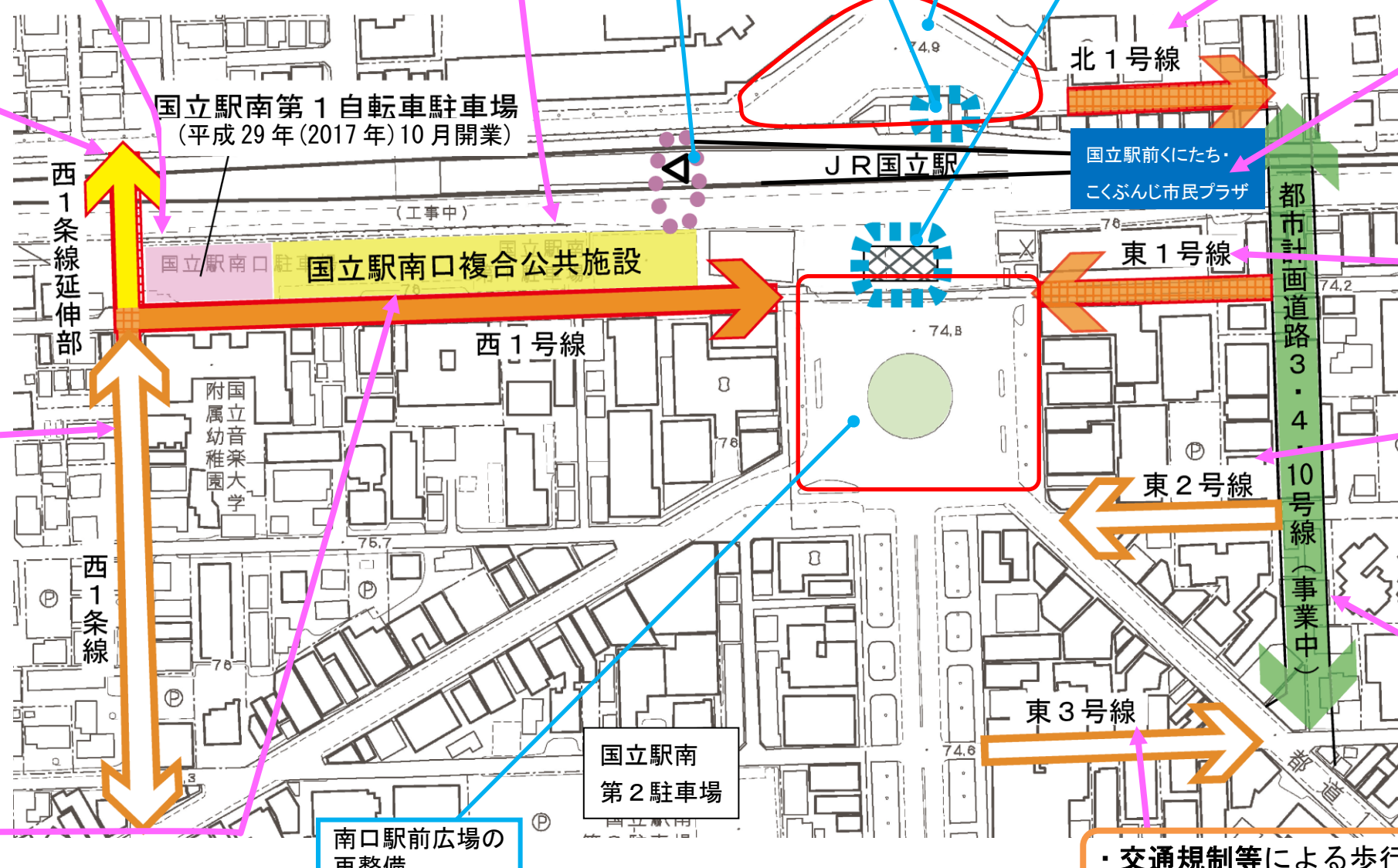
・相互通行を東向き一方通行化することにより、通過車両を低減し、歩道を拡幅します（平成30年（2018年）2月末日から一方通行化）

国立駅における西口改札の整備（JR整備済）

南口での広場空間の確保と旧駅舎の再築

・高架下利用により行政サービス施設、会議室などを整備しました
・住民票の発行や図書の貸出・返却などを行います（平成30年（2018年）5月開業）

・新たに北向き一方通行で開通し、交通の分散を図ります
・歩行者・自転車が通行可能となるように暫定開放しました



・西1条線は、歩道をバリアフリー化することにより、歩きやすい道路とします

・相互通行を西向き一方通行化することにより、通過車両を低減し、歩道を拡幅します

・東向き一方通行を、西向き一方通行化することにより、通過車両を低減します

※一方通行化には、沿道住民の同意が必要になります

・歩道を拡幅し、歩きやすい道路とします

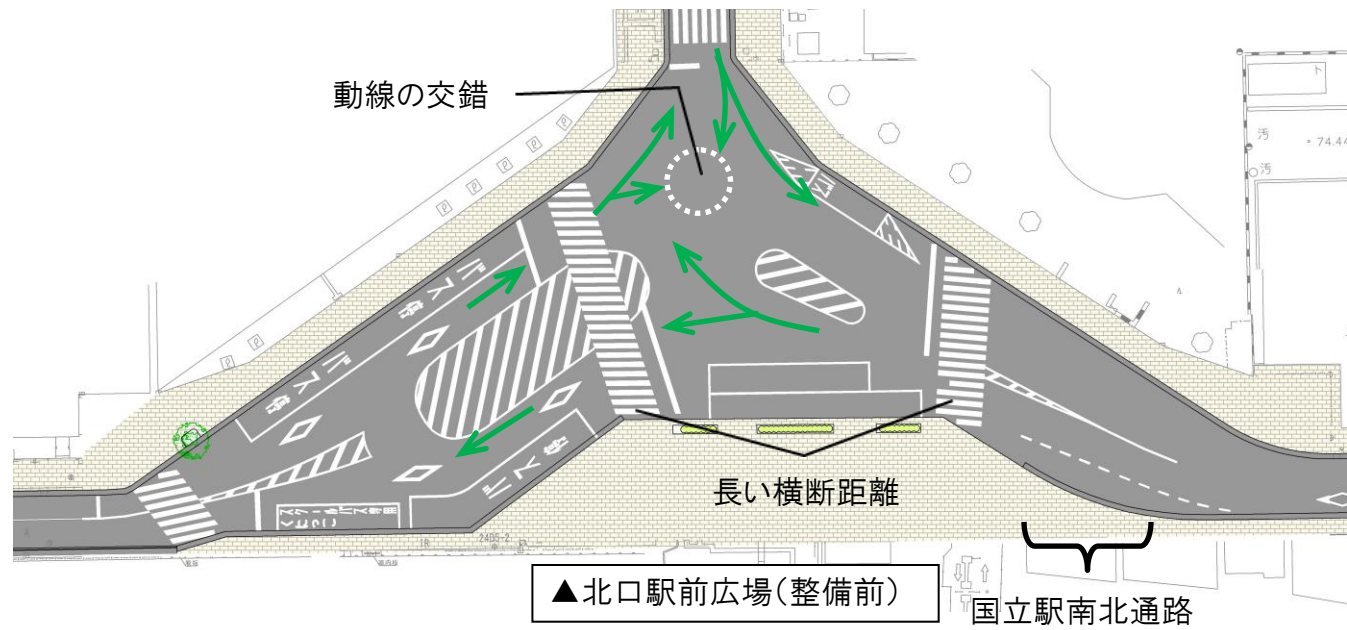
・南北の通過交通の円滑化を図り、街路樹による緑の景観や、歩行者・自転車が快適に通行できる空間を整備します

・交通規制等による歩行空間の改善を図ります

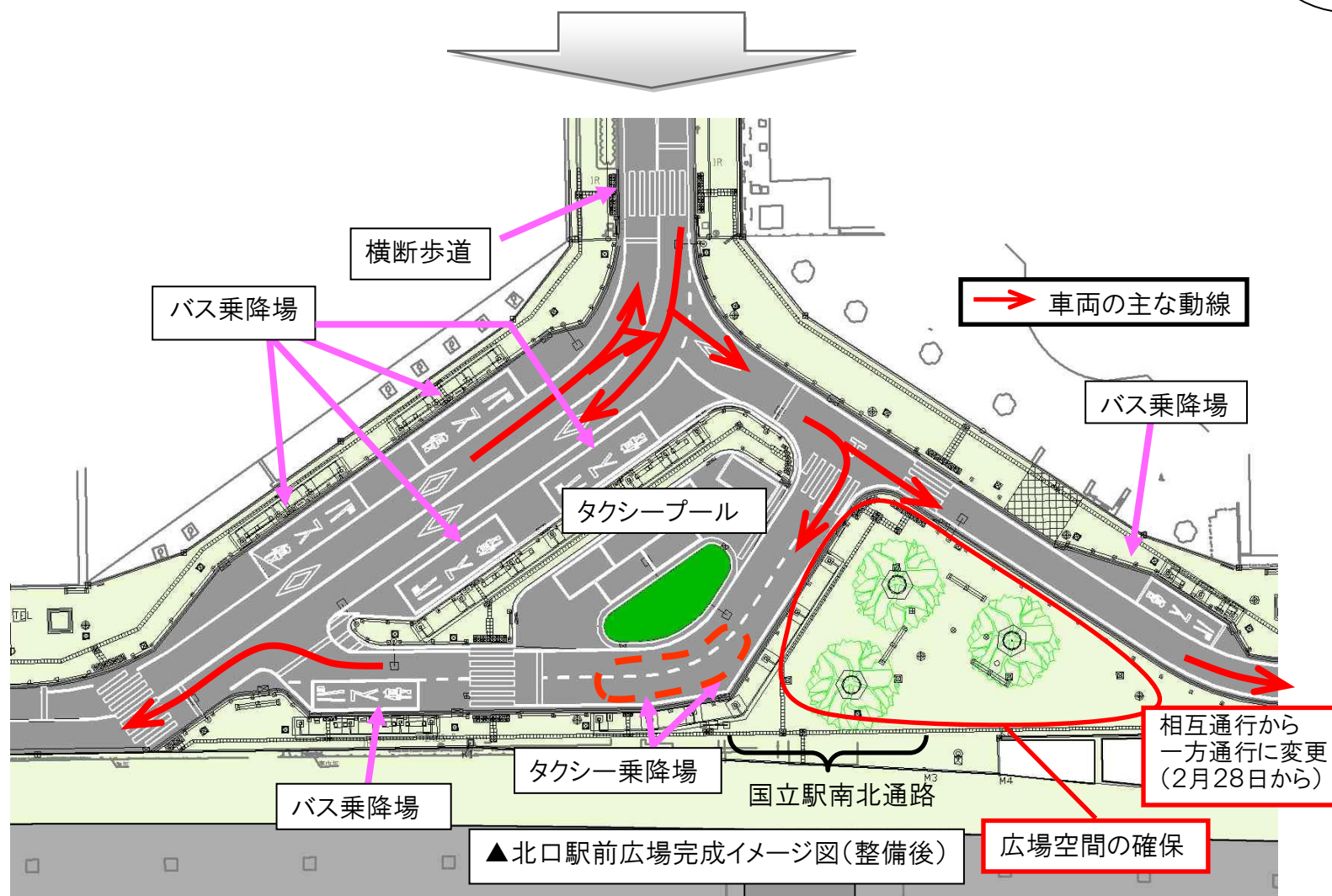
▲国立駅周辺道路整備計画箇所図



② 北口駅前広場の整備計画(平成31年(2019年)3月完成予定)



- ・南北通路北側に広場空間を設け、南口・北口駅前広場の一体的な活用を図ります
- ・広場空間を整備することにより、“くにたちらしい新たなにぎわい”を創出します
- ・歩行者の横断距離を短くして、安全性を高めます
- ・バスの間隔、横断歩道からの離隔を十分に確保し、また、動線交錯を減らすなどして、車も安全に通行しやすいように整備します
- ・平成29年(2017年)11月から整備工事が始まりました。工事中は歩行者通路やバス乗り場が変わるなど、ご不便をおかけしますが、ご理解ご協力をよろしくお願いいたします。
- ・平成30年(2018年)2月28日13時頃から、広場東側の道路(北1号線)が東向き一方通行になりました。





③ 南口駅前広場の整備計画（案）

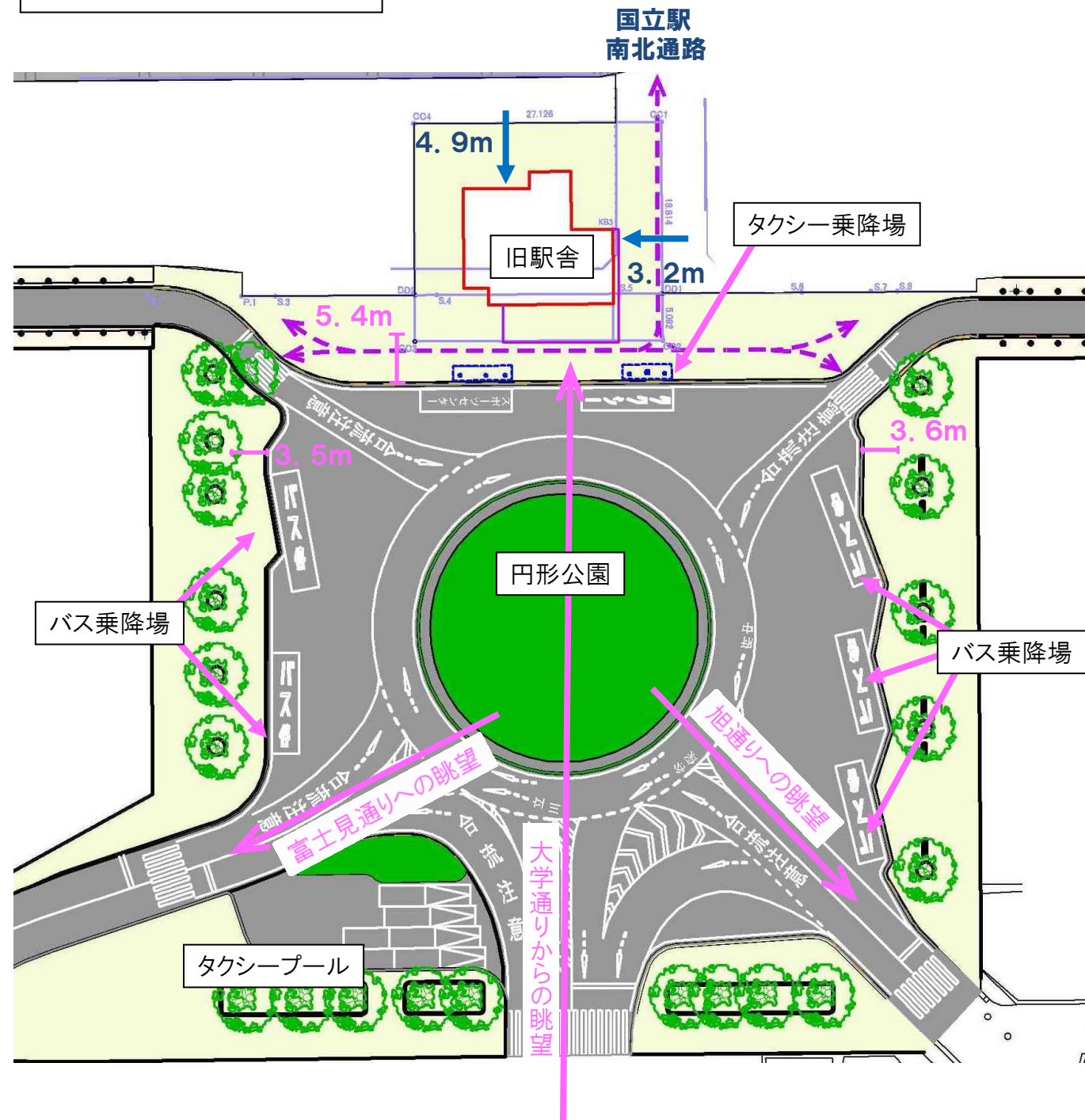
◆基本的な考え方

- ・ロータリーとしての交通体系を維持したまま、歩行者空間を拡充します
- ・道路上のタクシープールを路外にまとめるなどゾーニングを分け、動線交錯を減らすことで安全性を高めます
- ・バスバースを広場外周に配置し、バリアフリー化を図ります

◆旧国立駅舎の再築

- ・旧国立駅舎は、駅利用者の歩行動線の確保のため、南、西側に以前の位置よりそれぞれ約4.9m、3.2m移した位置に再築します

▼南口駅前広場完成イメージ図



◆駅前広場の形状

- ・大学通り、旭通り、富士見通りの3路線の要となる駅前広場に面して旧国立駅舎を再築することにより、くにたち草創期からの歴史的な配置を回復します

◆円形公園の再整備

- ・交通管理者および交通事業者の協力は必要となりますが、将来は非日常的に円形公園も活用したイベントを行い、市民の皆さまにとって憩いの場となる水と緑の空間として再整備します

◆歩行空間の考え方

- ・北、東、西側にそれぞれ約5.4m、3.6m、3.5m歩道空間を拡幅するとともに、バリアフリー化を図り、安全性を高めます

◆駅前広場の形状

- ・大学通りを中心とした左右対称のロータリーなど、くにたちのまちづくりの歴史を継承した広場とします

◆駅前機能の考え方

- ・現在の交通体系を維持したまま、歩行者空間を拡大し、だれもが安心して通行できる空間を創出します

※交通管理者協議により、タクシー乗降場の配置など内容が変更になる可能性があります

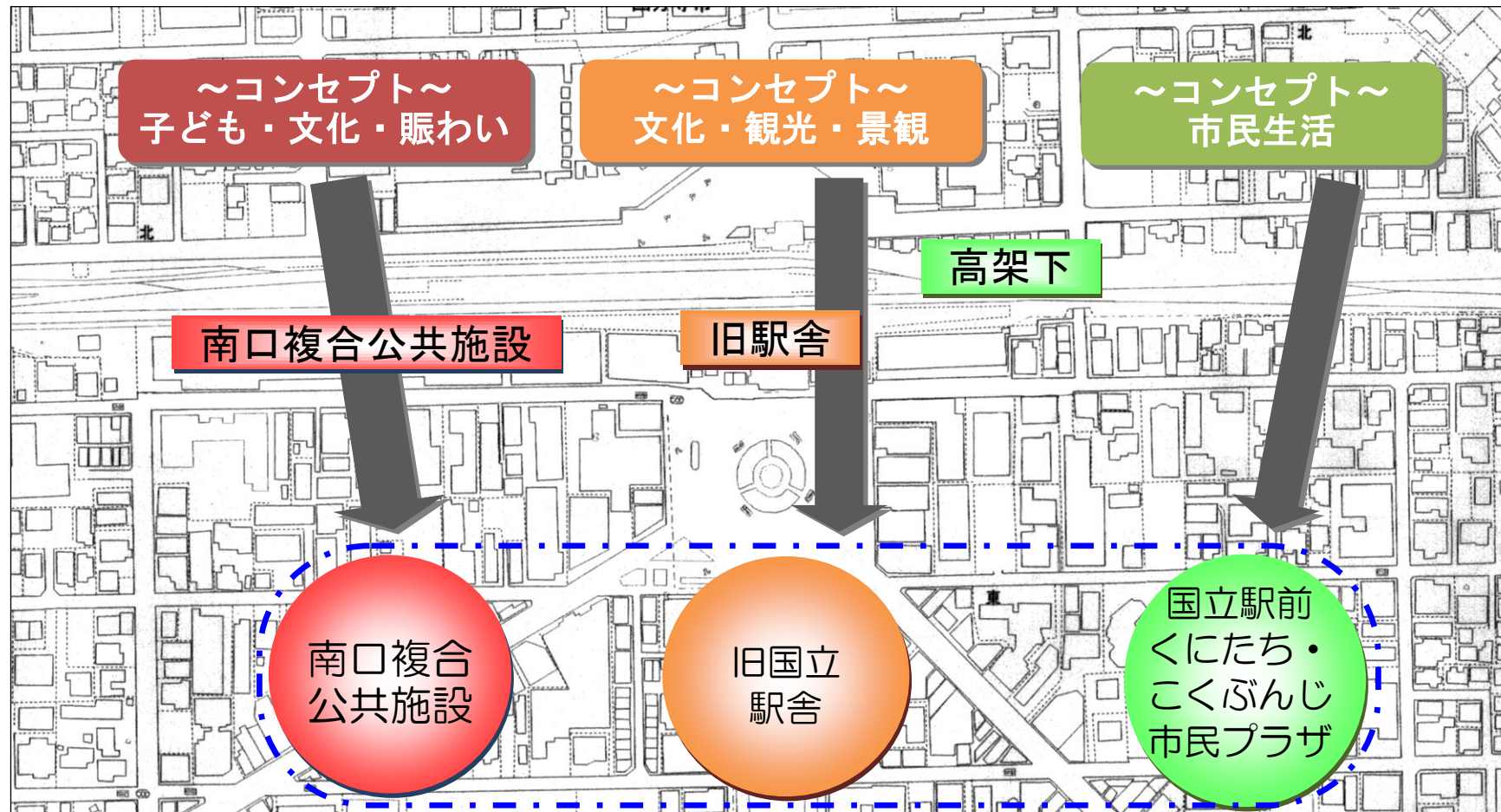


④ 国立駅周辺施設の整備コンセプト、事業スケジュール

～まちづくりの理念～

「人」はまちづくりのかなめであり、人と人がつながっていくことでまちも元気になっていきます。みんなで作る国立駅周辺の空間が、暮らし（市民生活）や文化をはぐくみ、人びとの力（賑わい・観光・子ども）を生み出し、美しい景観を創造していきます

各エリアにおけるコンセプトの設定



事業スケジュール予定

事業	年 度						
	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023
西第1号線整備	[Progress bar]			[Progress bar]			
西第1条線整備					[Progress bar]		
西第1条線延伸部整備				[Progress bar]			
北第1号線整備	[Progress bar]			[Progress bar]			
東第1号線整備	[Progress bar]			[Progress bar]	[Progress bar]		
東第2号線整備					[Progress bar]		
東第3号線整備					[Progress bar]		
国立駅北口駅前広場整備	[Progress bar]						
国立駅南口駅前広場整備	[Progress bar]			[Progress bar]	[Progress bar]	[Progress bar]	2025年まで
旧国立駅舎再築	[Progress bar]						
国立駅前にたち・こくぶんじ市民プラザ	[Progress bar]	整備完了					
国立駅南第1自転車駐車場整備	[Progress bar]	整備完了					
南口複合公共施設	未定						
3.4.10号線(南)整備		[Progress bar]					
3.4.10号線(北)整備	南工区の進捗及び経済動向を勘案し着手時期を決定します。						

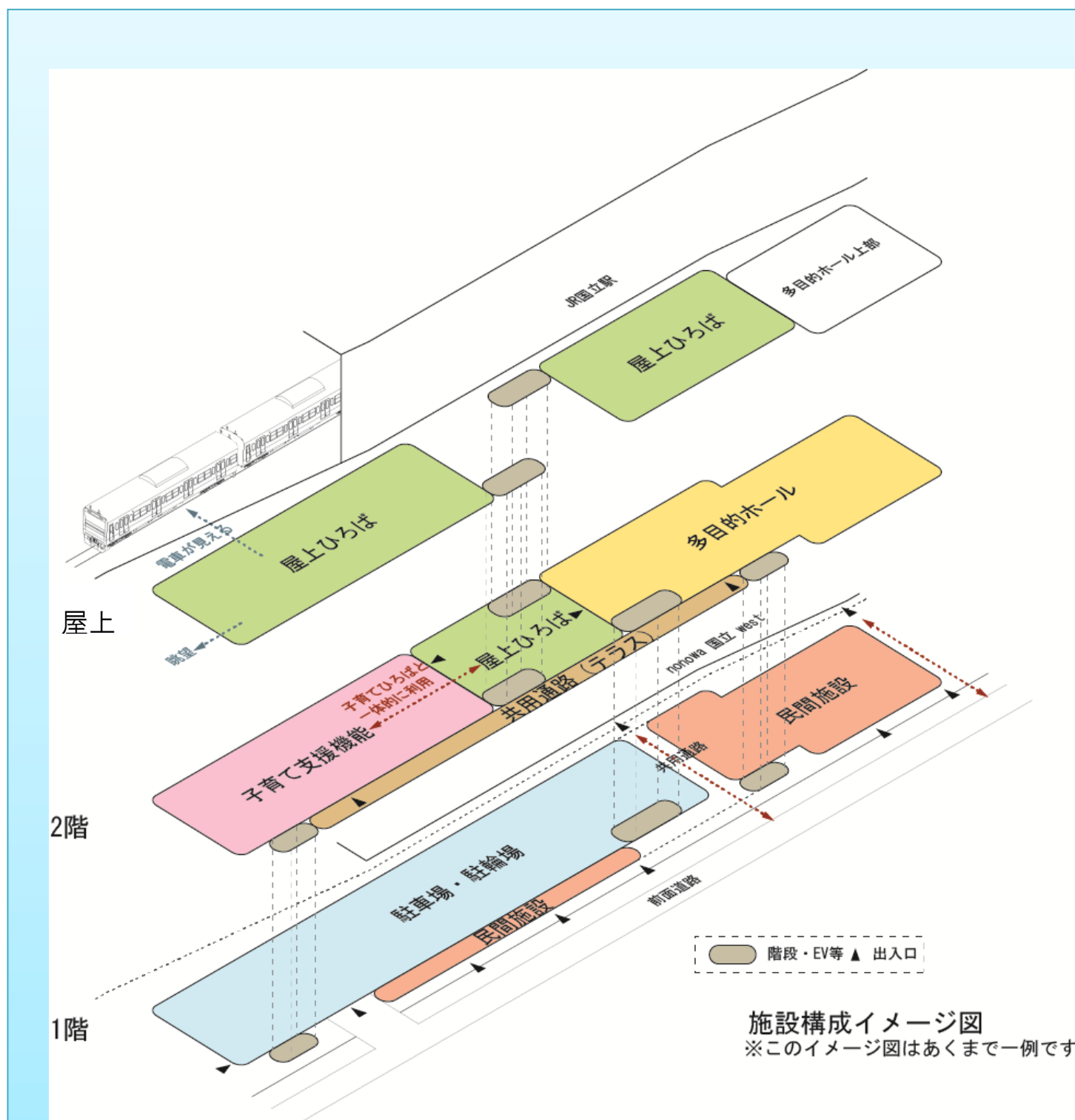


⑤ 各施設の機能の考え方

国立駅周辺に望まれる 公共施設	導入する 施設・機能	整備場所 (※)	理由・説明
駐輪場	駐輪場	●複合	南口複合公共施設の附置義務分を整備する。
駐車場	駐車場	●複合	南口公共施設等用地の既存駐車場の台数分に加え、南口複合公共施設の利用者用の必要台数分を整備する。
図書館	図書の貸出・返却	●高架下	高架下市民利用施設に導入する市民サービスコーナーに併設し、図書の貸出・返却機能に特化して実施する。
	絵本の部屋	●複合	南口複合公共施設に導入する子育てひろばに、子ども向けの絵本等に特化した絵本の部屋を設置する。
市役所出張所	市民サービスコーナー	●高架下	住民票等が取得できる市民サービスコーナーを高架下市民利用施設に整備し、市民の利便性の向上を図る。
	女性等相談	●高架下	女性等を対象とした相談事業の実施と、より一層の啓発活動を行う施設を整備する。
公園・緑地・緑	子育てひろば	●複合	子どもが安全に遊べ、親子の交流ができる子育てひろばを整備する。 緑地・緑については、民間事業者による屋上緑化等の整備を誘導していく。
保育園・幼稚園・託児所	一時保育	●複合	南口複合公共施設に導入する子育てひろばに、一時保育機能を付与し、国立駅周辺を利用する子育て世代を支援する。
トイレ	トイレ	●複合 ●高架下	市民向けのトイレを整備する。
ギャラリー・美術館 ホール・イベント会場	多目的ホール	●複合	文化・芸術の充実と発信を行う文教都市にふさわしい施設を整備する。
	展示ギャラリー	●旧駅舎 ●高架下	市の文化・歴史等について発信するスペースを整備する。
待ち合わせ場所 ベンチ・休憩スペース	オープンスペース	●旧駅舎 ●高架下	市民や来訪者が交流でき、気軽に憩えるスペースを整備する。
会議室	会議室	●高架下	高架下市民利用施設に導入する市民サービスコーナーに付随した会議室を整備する。
観光案内所	観光案内所	●旧駅舎	市民や来訪者に市の魅力等を発信する。

※整備場所 ●複合：南口複合公共施設 ●旧駅舎：旧国立駅舎 ●高架下：国立駅前くにたち・こくぶんじ市民プラザ

⑥ 南口複合公共施設（施設構成イメージ）



- ・低層階には導入予定の公共機能との相乗効果が期待できる民間施設を配置します
- ・駐車場は、駅周辺の駐車需要や本施設の利用者のために必要な台数を考慮し、適切に配置します
- ・壁面後退等により歩行者空間を創出し、駅周辺の回遊性の向上を図ります
- ・低層、緑化、自然エネルギーの活用等による国立らしく、文教都市にふさわしい景観・環境に配慮した施設を誘導します

※民間施設をはじめとして、施設配置については、民間事業者からの今後の提案によるものとなります

左記の施設構成イメージ図は仮の図であり、決定したものではありません

⑦ 旧国立駅舎の再築工事が始まります (平成32年2月完成予定)

- 市のシンボルとして旧国立駅舎を南口駅前広場に面するほぼ元の位置に再築し、大学通りからの景観を回復します

※改元後は、新元号に読み替えます。

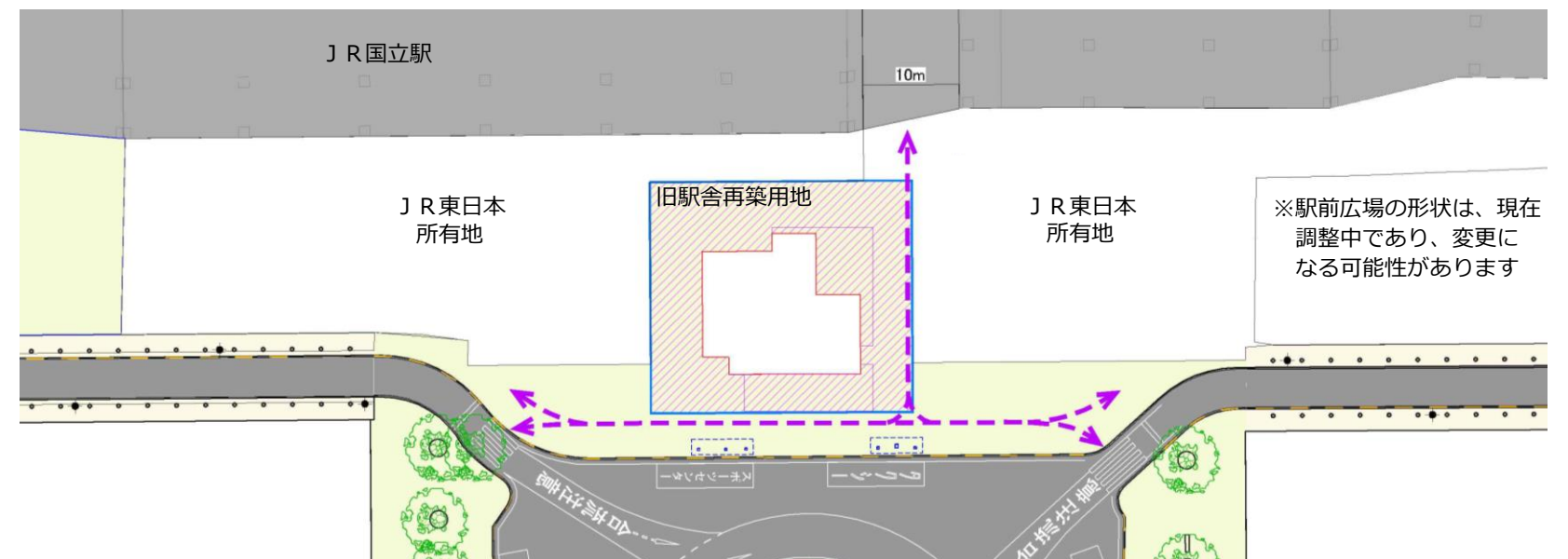
▼大学通りから見た旧国立駅舎の外観イメージ



▼JR高架(南北自由通路上部)から見た展望イメージ



▼旧国立駅舎の再築用地について



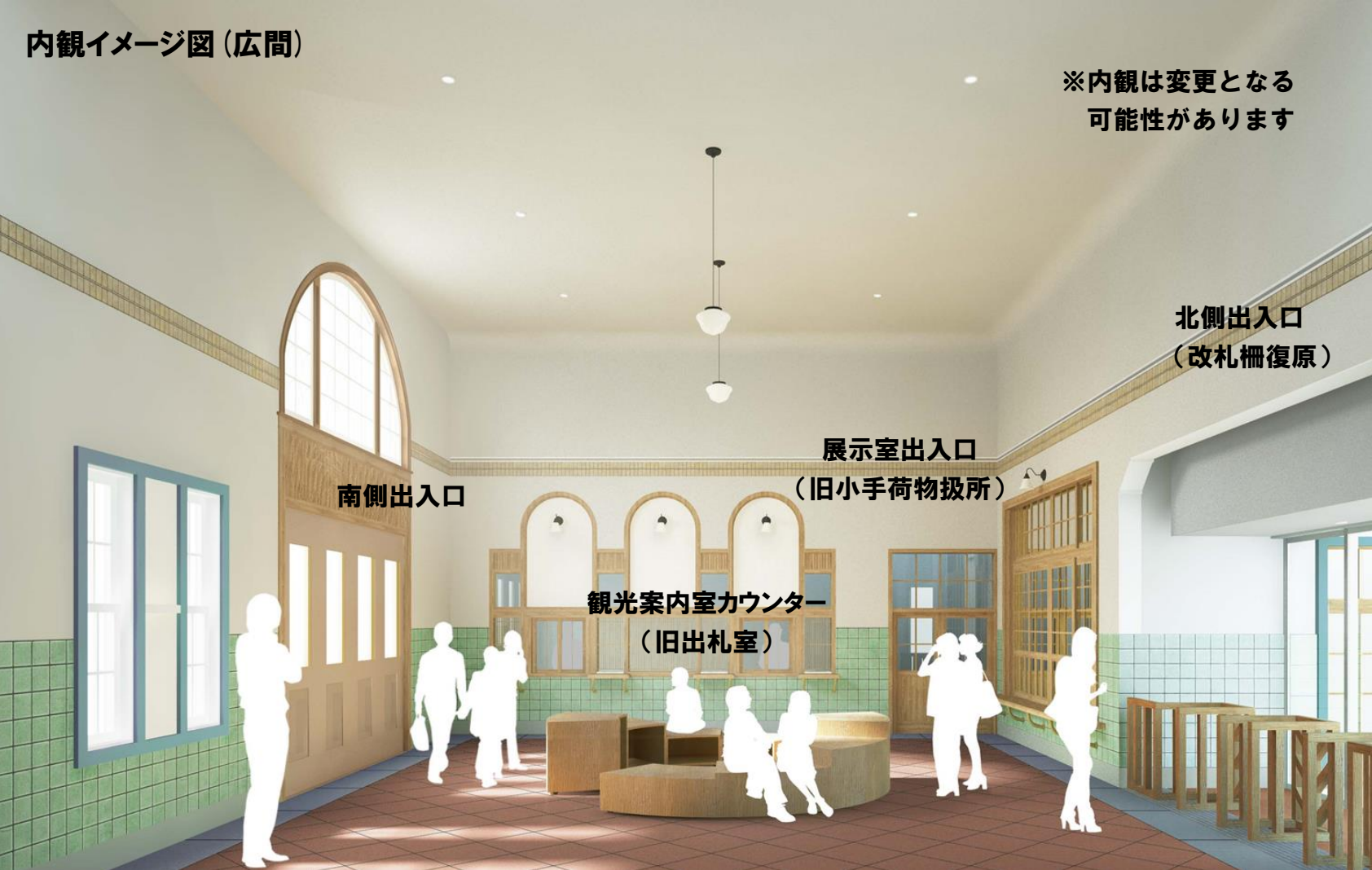
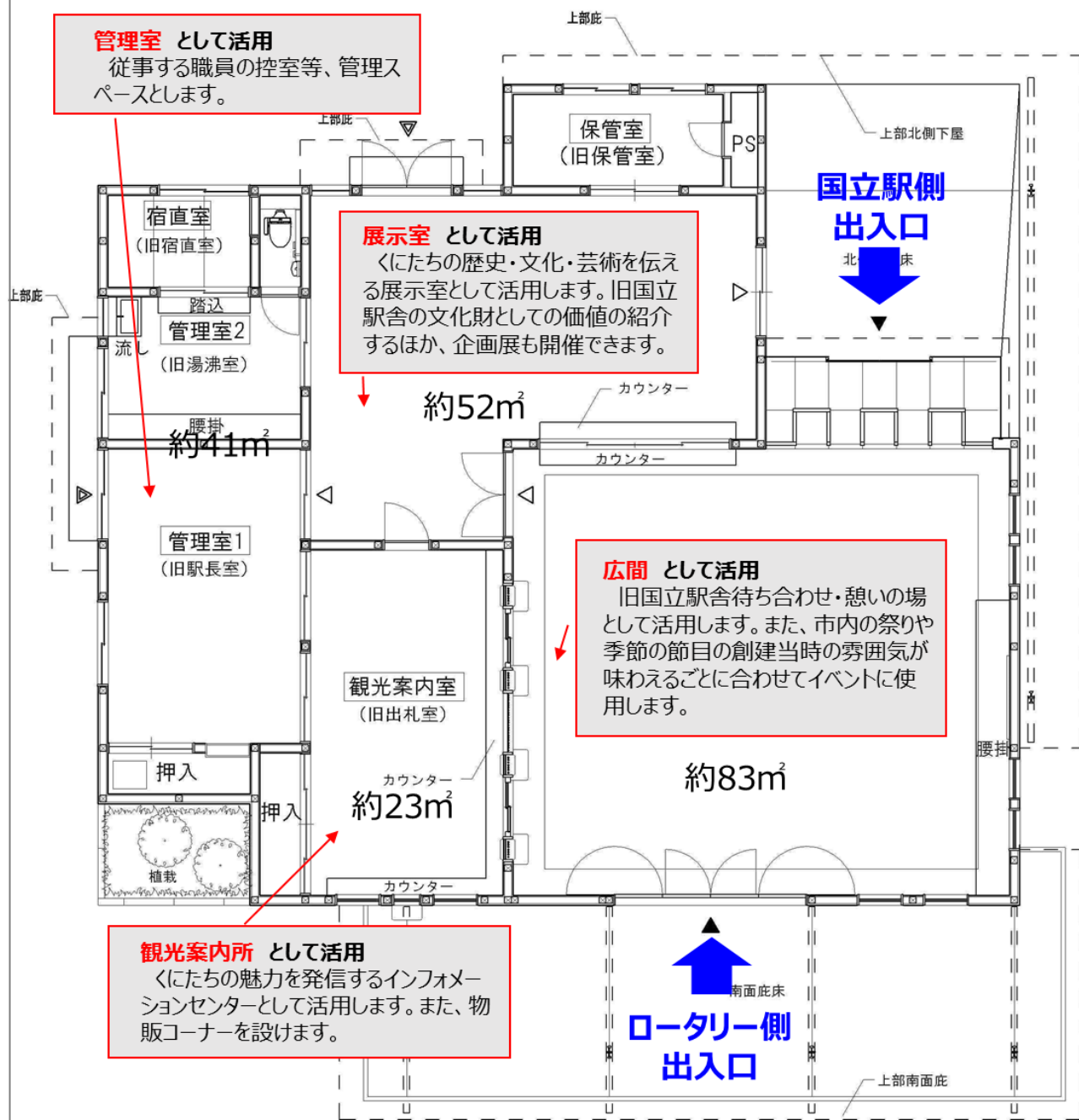


⑧ 旧国立駅舎の活用について

◆旧国立駅舎の活用方針

- ・文化財として再築し、市の情報発信施設として活用します
- ・旧広間を多目的スペースとして、旧出札室を観光案内所として、旧手小荷物扱所を展示スペースとして活用します

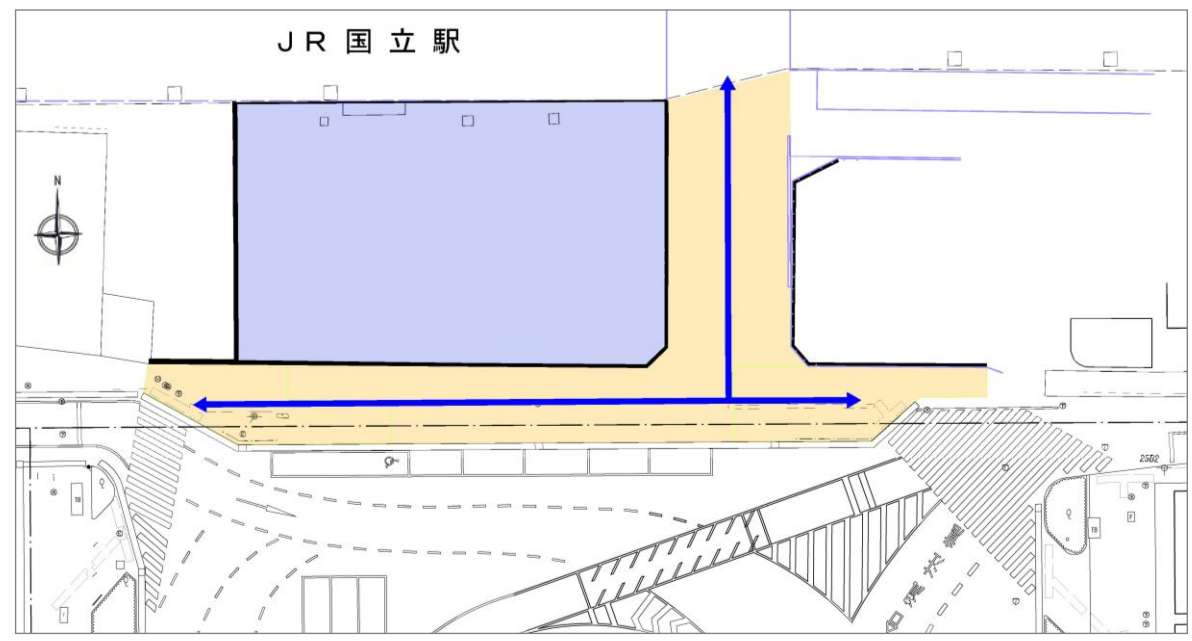
創建当時(大正15年(1926年))の姿を可能な限り再現し、歴史性を感じられる空間作りを目指します。



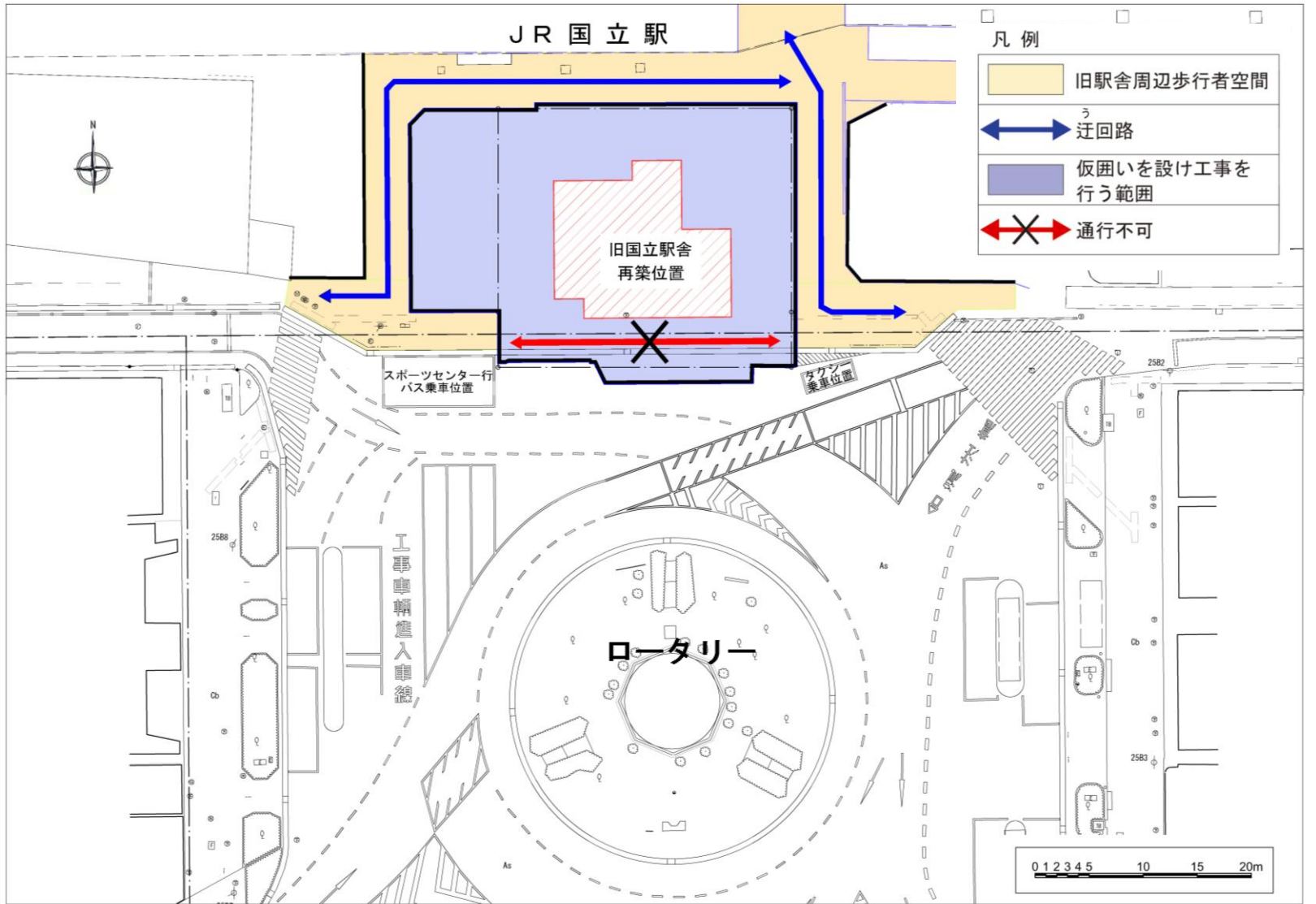


⑨ 旧国立駅舎再築工事中の歩行者動線

変更前 (2018年7月4日まで)



変更後 (2018年7月5日から2020年2月まで※)



- 旧国立駅舎再築工事にともない、工事完了まで国立駅南口の歩行者動線を右図のとおり変更します。
- 工事期間中は右図のとおり迂回をお願いします。
- 工事中はご不便とご迷惑をおかけいたしますが、ご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。

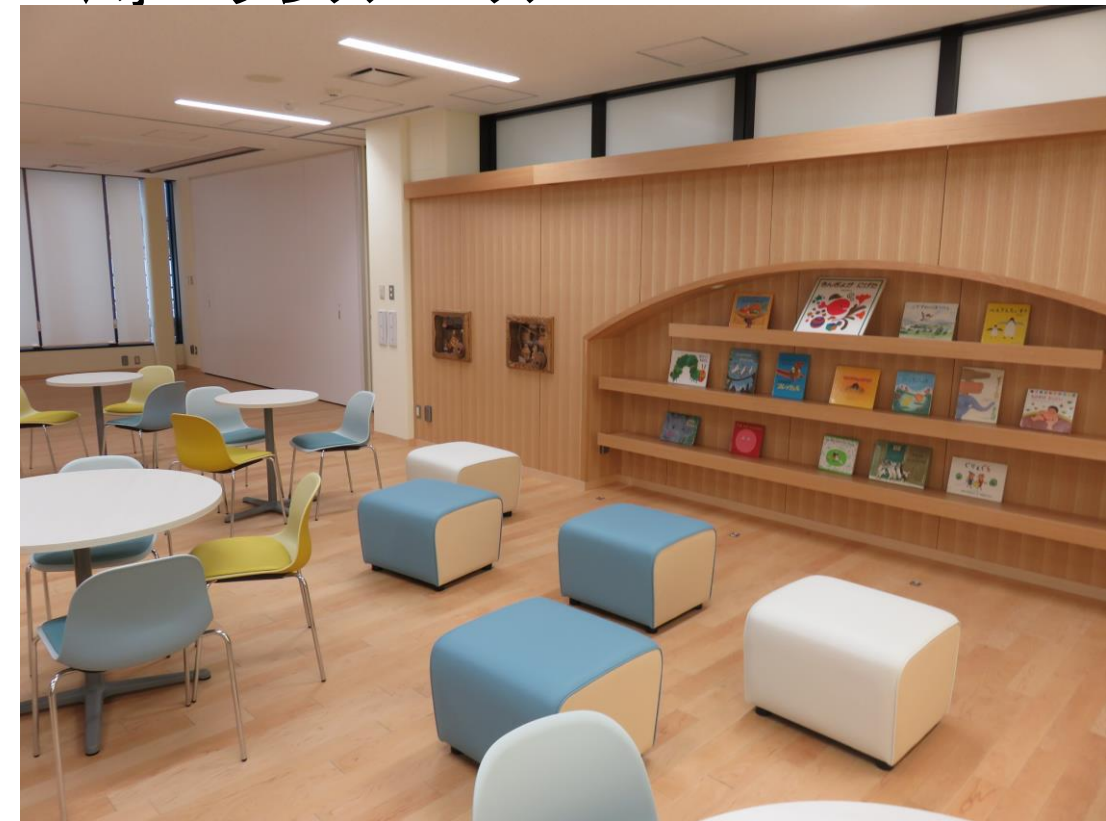
※工事の進捗状況により変更となる可能性があります。



10 国立駅前くにたち・こくぶんじ市民プラザ

▼オープンスペース

▼市民サービスコーナー



- ・ 国立市と国分寺市の共同施設として、「国立駅前くにたち・こくぶんじ市民プラザ」が平成 30 年 (2018 年)5 月 14 日に開業しました。
- ・ 証明書の交付や申請書の取次ができ、また、予約図書の受け渡し・返却が可能です。
- ・ 市民交流を目的としたオープンスペースを整備しました。会議室としての活用も可能です。
- ・ 施設内に「くにたち男女平等参画ステーション」が開設され、市民の暮らしの中で、健康、家庭、人間関係、仕事等に関する相談等が可能です。
- ・ テレホンサービスにより、夜間・休日の証明書等受け渡しが可能です。

開館時間及び休館日

機能	開館時間	休館日
施設全体 (共用部分)	月曜日から金曜日まで 午前 8 時 30 分から午後 10 時まで 土日祝日 午前 9 時から午後 10 時まで	年末年始 臨時休館日
市民サービスコーナー (※国分寺市の施設も同様)	月曜日から金曜日まで 午前 8 時 30 分から午後 7 時まで	土日祝日 年末年始 臨時休館日
会議室	午前 9 時から午後 10 時まで	年末年始 臨時休館日
くにたち男女平等参画ステーション	月曜日から金曜日まで 午前 10 時から午後 7 時まで 土日祝日 午前 9 時から午後 5 時まで	年末年始 臨時休館日
テレホンサービス	月曜日から金曜日まで 午後 7 時から午後 9 時まで 土日祝日 午前 9 時から午後 7 時まで	年末年始 臨時休館日

小屋組^注(キングポストトラス)

※再利用

屋根窓(ドーマー窓)

※創建当時復原

柱型

※創建当時復原

半円アーチ窓

※再利用

正面ひさし部の古レール柱

※両端2本再利用

正面木製扉(折れ戸)

※創建当時復原

注) 小屋組=屋根を支えるための骨組みとなる構造

※内容は変更となる可能性があります。



内観イメージ図

※内容は変更となる可能性があります。

半円アーチ窓
※再利用

展示室入口
(旧手小荷物扱所)

改札柵
※創建当時復原

観光案内室カウンター
(旧出札室)

